

東日本大震災と私

作成者 I.H3

[1. 地震当日 2011.3.11](#)

[2. 地震後 3 ヶ月間の私の動き](#)

[3. 今私にできること](#)

1. 地震当日 2011.3.11

地震が起きた3月11日、私は卒業式の前日で、クラスの離散会をしていた。先生が地震に気づき、徐々に揺れが強くなっていった。私のクラスでは、みんな教室の中央に集まり、揺れがおさまるのを待っていた。窓がガタガタしていて、外の様子を見たら、電柱が揺れていた。

揺れがおさまってから、全校集会があり、全員帰宅することになった。停電で電話も使えず、余震も続いていたので、体育館で家の人を待っていた。数分後に電話が通じ帰宅したが、帰宅後も電気がつかず水も出なかった。食べ物は、地震が来る前に買っていたので十分あった。私の家では、発電機があったので、一部屋だけ電気をつけ、夜ご飯を食べた。

On March 11, when the earthquake was happened, I was in the disintegration party of the class before a graduation ceremony on the day. When a window rattled, I looked at the outside state. A telephone pole shook heavy.

All the members came back to home after rolling was settled. Telephone communication was established and we could go back to home, but the water did not appear. And the light did not work in my home.

2. 地震後3ヶ月間の私の動き

次の日の夜に電気と水が復旧した。でも、ほぼ毎日のように余震が続き、停電や断水があった。学校が休校になることもあり、まだまだ油断はできないと思った。余震は日中より夜中にくることが多く、電灯をベッドの近くに置いて寝た。いつ地震が起こるのか、また大きな地震が起こるのか、岩手・宮城の人たちはどのように過ごしているのか、というようにたくさんの方の不安もあった。

At the night of the next day of the earthquake, electricity and water restored. But an aftershock continued approximately almost every day, and there were a blackout and suspension of water supply. As for people of Iwate and Miyagi, there was the uneasiness that there might occur a big earthquake again.

3. 今私にできること

今できることは、被災地へのボランティアや全国的にも行われている節電だと思う。実際に岩手・宮城に行き、ボランティアをすることは難しいので、文房具や古着などの救援物資を送ることもできる。また、福島の原子力発電所の事故あり、電気が不足している。計画停電が行われたが、生活の中で電気を使いたいときに使えないのはとても不便なので、被災地のためにも節電を心がけていきたいと思った。

I think that it is the volunteer to the stricken area and the economy in power consumption that are carried out nationwide now. I can send the relief supplies such as stationery or old clothes. There was the accident of the nuclear power plant of Fukushima, and the electricity is short. I wanted to keep economy in power consumption in mind for the stricken area.

今回の震災についてもっと詳しく知っておこう

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%9D%B1%E6%97%A5%E6%9C%AC%E5%A4%A7%E9%9C%87%E7%81%BD>

頑張ろう
日本

